

令和 2 年度福岡県アレルギー疾患医療拠点病院
事業実績報告書

独立行政法人国立病院機構福岡病院

令和 3 年 8 月 4 日

事業実績報告書

(1) アレルギー疾患患者や家族等に対する電話などによる相談対応

事業実績

● アレルギー疾患電話相談窓口

- 福岡県在住の方向けの相談窓口として開設。
- アレルギー疾患をもつ患者や家族に対する相談の対応。
- 電話相談：水曜 10 時-12 時・木曜 13 時-15 時
- メール・FAX 相談：随時
- センタースタッフが質問内容を記載。1 週間以内に各科専門医が電話にて回答。
- アレルギーエドゥケーターで回答可能なものについてはエドゥケーターが回答。

結果：令和 2 年度の相談件数は総計 101 件であった。

今年度はほとんどの相談に対して、各科のアレルギー専門医が回答を行った。

成人の方の質問が多かったため、エドゥケーターでは対応が難しいことも多かった。

アレルギー科単科で解決しないこともあり、複数科にまたがる場合は相談して回答した。

問題点：受診先を相談された場合、どの医療機関を案内してよいかわからないことである。特にアレルギー専門医のいない地域からの質問に対しては回答ができなかった。来年度、アレルギー科を標榜している医療機関に調査を行い、当センターからアレルギー科標榜医療機関に対して紹介してよいかどうかを確認する予定である。

小児では食物アレルギーについての質問が多く、小学校や保健所・幼稚園の先生より給食に関する問い合わせがあった。県内の給食（除去食に）の現状把握が必要である。

(2) 地域の医師等に対するアレルギー疾患研修会の実施

事業実績

● 医療者対象の講習会

コロナ禍であり、オンライン配信で行った。

登録者数は 724 名。

e-learning システムを構築し、聴講希望者には事前に登録、当センターから聴講の資格を与えることで、参加者の資格確認を行った。プログラムは下記のように組み、1 週間ごとの配信とした。また、第 1 回と 3 回は全国的にもアレルギー診療の第一人者の先生方に司会、対談をお願いし、座学的なもの以外の特集を組んだ。福岡病院だけでなく、他病院の先生方にも講師をお願いした。参加者にはモチベーションを保てるように、修了証の発行、アレルギー学会、医師会生涯教育単位の申請を行い、参加を推進した。

e-learning の最後に今回の講習会の感想や今後希望する講習内容などを記載していただくようにアンケートを組み込んでおり、これらを集積して、来年度の予定を立てる予定である。

オンライン配信にすることで、市外や会場に来ることが難しい方々にも情報を提供することができた。

来年度は、会場と後日のオンライン配信とを計画している。

今回の配信では事前の案内の有無によって、参加者の人数が大幅に違ったため、来年度はオンライン配信の際には直前に一斉メールで日時をお知らせできるようにシステムを構築しておくこと、また、配信前には紙ベースでも案内を送るようにしたほうが良いと思われる。

また、薬剤師や栄養師にも単位申請が可能になるようにする必要がある。

なお、この講習会はアレルギー協会九州支部と連携して行っている。

第 1 回：司会 西間三馨先生 食物アレルギー総論 柴田瑠美子先生 アトピー性皮膚炎の治療の変遷 古江増隆先生	第 2 回： コミュニケーション論 金子恵美先生 栄養指導 松井智美先生 成人の食物アレルギー 岡部公樹先生
第 3 回：司会：吉田誠先生 大気汚染と気管支喘息 小田嶋博先生 黄砂と PM2.5 岸川禮子先生	第 4 回： アトピー性皮膚炎とアレルギーマーチ 杉山晃子先生 患者指導・介入について 池田奈央先生
第 5 回： アレルギー性結膜炎 内尾英一先生 花粉症と舌下免疫 押川千恵先生	第 6 回： 小児喘息 手塚純一郎先生 成人喘息 福嶋健人先生 吸入指導 中島亜希先生
総集編 日本医師会生涯教育制度取得 第 1,2,4 回 3 月 20 日 (土) 12:00-17:00 第 3,5,6 回 3 月 21 日 (日) 12:00-17:00	

(3) アレルギー疾患に関する情報提供

事業実績

● ホームページの開設

アレルギーセンターのHPを立ち上げ、イベント情報なども速やかにアップするとともに、講習会の e-learning や患者向けのお役立ち情報などを掲載している。



● 花粉情報発信

アレルギー協会九州支部と連携して、全国に花粉情報発信を行っている。福岡病院は九州各県の花粉観測定点であり、情報発信地である。

● 市民公開講座

毎年、会場で行っている市民公開講座（呼吸器アレルギー教室）は今期、フリーペーパー作成を行い、各市町村役場に配布した。オンライン配信も考えたが、例年 60 歳以上の方々も多く参加されていたため、Web 環境がない方やインターネットで見るといことが難しいかもしれないと考え、フリーペーパー作成とした。

コロナの影響で、どこにでも冊子を置くということが難しいこともあり、各市町村役場の方から希望者に直接手渡しをしていただくこととした。

なお、このフリーペーパーについては HP よりダウンロード可能である。



● 食物アレルギー教室 2020年12月12日

対象は食物アレルギーをもつ未就学児の保護者で、zoom形式で行った。

プログラムは、食物アレルギー総論、検査・負荷試験の実際、栄養・食事のポイントとアレルギー表示、食物アレルギー対応食レシピ紹介、質問コーナーとした。

参加人数は11名であった。

鹿児島などの遠方からの参加もあり。今後参加者の範囲を広げて開催できる可能性がある。

今年度、調理室の環境を整え、感染対策を行って、来年度は調理室も利用できるように検討していきたい。

なお、この教室でも使ってきた食物アレルギー児のためのレシピを毎月HPに掲載していくことにしている。

(4) アレルギー疾患に係る診断等支援

事業実績

● アレルギー疾患講演

今年度、3件の講演依頼があったが、コロナの影響で2件は中止となった。

実施できた1件は福岡県からの依頼であり、学校教諭に対して、食物アレルギーに関する講演及びエピペンの実技指導を行った。(講師は当院小児科 村上医師、アレルギーエドクター 松田)

● エピペン講習

今年度はエピペン講習のために現地での講演ができなかったため、エピペンの実技動画をDVDにして、希望の学校に送付した。

● 保健所への診療支援

保健所への診療支援の目的は、医療機関への受診のタイミングを検討できるようにすることであり、当初、保健所での対面でのアレルギー相談事業を予定していたが、コロナの影響で保健所での集団健診が中止となることが多く、今年度は健診時に流せるような動画作成に変更した。

昨年度の時点で、訪問相談の希望があった保健所には、昨年度、健診時に訪問相談に行った際に多かった質問などを参考として、今後、保健所のスタッフや健診に来た方々に参考となるよう、食物アレルギー(乳児期、5ヵ月-1歳半、1歳半以降の年齢別に「乳児期と食物アレルギーとの関わり」「食物アレルギーについて」「離乳食の進め方」「食物アレルギーと上手に付き合うために」)、アトピー性皮膚炎(「スキンケアの方法について」「アトピー性皮膚炎について」)に関するDVDを作成し、アンケートを同封して送付した。

いずれの動画も、アレルギー疾患の有無に関わらず、一般の方々がわかりやすい内容にすることを目標として、当院のアレルギーエドクターを中心として作成した。

各保健所からの相談はメールアドレスを設け、そこを窓口としてもらうようになっている。

● その他アレルギー疾患

アレルギーセンターHPにわかりやすく、アトピー性皮膚炎、スキンケア、服薬指導マニュアルを掲示し、誰でも閲覧可能とした。

The screenshot displays the website for Fukuoka Hospital, specifically the 'Allergy Center' (アレルギーセンター) page. The page is in Japanese and features a navigation menu at the top with options like 'Home', 'About this Center', 'Inpatient Services', 'Notice', 'Medical Information Link', 'About Us', and 'Activity Schedule'. The main content area is titled 'お役立ち情報' (Useful Information) and includes sections for 'アトピー性皮膚炎' (Atopic Dermatitis) and 'なぜ?なに?スキンケア' (Why? What? Skincare). The 'アトピー性皮膚炎' section lists several questions and answers, such as 'How to diagnose atopic dermatitis?' and 'What is the relationship between atopic dermatitis and food allergy?'. The 'なぜ?なに?スキンケア' section provides basic information and methods for skincare. There is also a section for 'アレルギーでお悩みの方に' (For those who are troubled by allergies) with a '相談無料' (Free Consultation) button. The page footer includes contact information and a notice about a '令和2年度福岡県アレルギー講習会' (Allergy Training Course) held in 2021.